

**想定就職先**

グローバルヘルス領域におけるTMGHとLSHTMの共同研究・プロジェクトの推進及び両大学の更なる連携強化を推進する人材を想定しているため、TMGH及びLSHTMの教員・研究者や国際機関、国内機関（JICA等）、国際NPOが実施する国際プロジェクトのリーダーを想定している。

TMGH及びLSHTMが共同で実施する、国際共同研究やプロジェクトに実際に参加することにより、将来的に日英が共同で推進する第3国での研究プロジェクトや実践プロジェクトのリーダーとして推進する能力に加え、日英のみならず、日本と欧米先進国や国際機関との連携強化を通じてグローバルヘルスを推進することができる能力を養成する。

**想定就職先:** 熱帯地域・発展途上国において重要な熱帯感染症などの疾病に関する高度な学問的知識を有し、実地臨床の現場で新たな課題を発見し、必要な情報を収集し、これを解決する能力を備えた研究マインドを持った臨床医として大学病院に勤務

**想定就職先:** 国際保健・グローバルヘルス領域における高度な学問的知識に加え、国際保健・グローバルヘルスの現場で、高度な実務能力、実践的能力を有し、熱帯地域、発展途上国における健康問題の解決に貢献する実務専門家（JICAプロジェクトに従事）

**想定就職先:** 基礎・応用医科学や健康社会科学・社会工学、ベクター生態学、疫学・集団健康学、健康情報学等の分野で、ラボ/デスクとフィールドと臨床を繋ぐイノベティブな科学を、他の分野と協力して推進・応用できる研究者。（博士後期課程修了後、研究者となることも想定）

【研究】

【研究】

【実践】

【応用】

【専門基礎】

【基礎】

国際連携専攻

30  
単位  
取得

博士前期（修士）課程

博士後期課程  
へ進学

博士後期課程  
へ進学

博士後期課程  
へ進学

**課題研究(特定課題研究)**

**研究指導**

- ・グローバルヘルス演習 I

**演習科目**

- ・グローバルヘルスセミナー ②

**地球環境・衛生学モジュール**

- ・衛生動物学 ②

**疫学・統計学モジュール**

- ・疫学 II ①
- ・統計学 II ①

**臨床熱帯医学モジュール**

- ・臨床熱帯医学（臓器別）②
- ・臨床熱帯医学（地域別）①

**基礎熱帯医学モジュール**

- ・病原微生物学 I ①
- ・病原微生物学 II ②
- ・病原微生物学 III ②
- ・免疫学 ①
- ・バイオテクノロジー ①
- ・病理学 ①

- ・疫学 I ②
- ・統計学 I ②
- ・研究倫理 ①

- ・熱帯医学基礎 II ②
- ・グローバルヘルス I ②
- ・グローバルヘルス II ①
- ・地球環境・衛生学 ②

熱帯医学コース

**研究指導**

- ・グローバルヘルス演習 I ①
- ・グローバルヘルス演習 II ①

**演習科目**

- ・グローバルヘルスセミナー ②

- ・長期海外研修 ②

**保健政策・マネジメントモジュール**

- ・医療経済 ①
- ・保健制度・政策 I ①
- ・プロジェクト・プログラム管理 I ①
- ・社会企業論 (1)

**社会行動科学モジュール**

- ・ヘルス・プロモーション I ①
- ・医療人類学 I（概論）①
- ・社会調査（質的）(1)

**国際地域保健学モジュール**

- ・リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダー I ①
- ・小児保健 I ①
- ・小児保健 II ①
- ・地域保健 I ①

- ・短期フィールド研修 ①

- ・疫学 I ②
- ・統計学 I ②
- ・研究倫理 ①

- ・熱帯医学基礎 II ②
- ・グローバルヘルス I ②
- ・グローバルヘルス II ①
- ・地球環境・衛生学 ②

国際健康開発コース

**研究指導**

- ・グローバルヘルス演習 I ①
- ・グローバルヘルス演習 II ①

**演習科目**

- ・ヘルスイノベーションゼミ I ②
- ・ヘルスイノベーションゼミ II ④
- ・グローバルヘルスセミナー ②

**地球衛生・環境学モジュール**

- ・衛生動物学 (2)

**疫学・統計学モジュール**

- ・疫学 II (1)
- ・統計学 II (1)

**基礎熱帯医学モジュール**

- ・バイオテクノロジー (1)
- ・病理学 (1)

- ・疫学 I ②
- ・統計学 I ②
- ・研究倫理 ①

- ・熱帯医学基礎 I ②
- ・熱帯医学基礎 II ②
- ・グローバルヘルス I ②
- ・グローバルヘルス II ①
- ・地球環境・衛生学 ②

ヘルスイノベーション  
コース

**入口:** 大学を卒業した医師で、熱帯地・開発途上国における保健・医療分野での臨床に興味と意欲を有している者。（例：大学卒業後、医師として2年の臨床経験を有する者）

**入口:** 大学を卒業した学士で、熱帯地・開発途上国における保健・医療分野での実務に興味と意欲を有している者。（例：民間企業に勤務し、海外協力隊の経験を有する者）

**入口:** 大学を卒業した学士で、熱帯地・開発途上国における保健・医療分野での応用研究に興味と意欲を有する者。（例：環境科学部卒業生）

【博士後期課程（国際連携専攻）における教育研究の特色】

- TMGHとLSHTMを中心に構成されるJoint Academic Committee（JAC学務委員会）を組織する。学生毎の研究指導チーム構成～研究計画書審査～博士論文審査～終了判定と、入学から学位取得までの全プロセスを管理し、教育・研究・学位の質を担保する機能を果たす。
- JAC学務委員会による、学生のバックグラウンドにベストマッチングする主指導教員（1名）及び副指導教員（2名）から構成される研究指導チームの決定。主指導教員がLSHTMの教員の場合、副指導教員のうち1名はTMGHの教員が担当する。
- 熱帯医学・グローバルヘルス研究科教員及びロンドン大学衛生・熱帯医学大学院教員による国際共同研究に参加し、世界レベルの研究者における、教育、研究、実践が三位一体となった指導を実施。

**リサーチワーク中心の  
カリキュラム**

【修士課程における教育研究の特色】

- 全授業英語開講
- チュートリアルによる修学支援強化
- 海外から著名な専門家の招聘
- 海外協力病院等とのリアルタイムでの症例ディスカッション
- 長崎大学の豊富な基礎感染症学系教員による系統講義と実習
- 他コースとのシナジー効果
- 熱帯医学、国際保健等の基本的知識を修得する科目及び研究倫理や疫学統計学等の研究活動に必要な知識・技能を修得
- 海外病院での実習や長期海外研修等により修士レベルで教育、研究、実践が一体となった教育内容の構築

**コースワーク中心の  
カリキュラム**